

浜松観光ボランティアガイドの会

研修部主催「小牧山城・犬山城現地研修会」

6月14日、会員54名を乗せた「浜松バス」は8時に三方原霊園を出発し、浜松西インターから東名高速に入りました。車中、大村会長から小牧山城、犬山城の歴史や構造、及び周辺の観光等の説明がありました。

小牧山城：1563年織田信長が築城。山の大きさ、東西約600m、南北約400m、標高約86m。

現地では小牧市文化財課の小野由紀子さんから説明を受けました。始めに、徳川家康と豊臣秀吉が戦った「小牧・長久手の戦い」は、ここに本陣を置いた家康が、地の利を生かして戦いを制し、後の天下取りの礎を築くこととなります。そのため、江戸時代には「聖地」とされ、入山が禁止されました。その結果、小牧山は戦国時代の地形がそのまま残る非常に貴重な遺産となりました。

山頂の小牧市歴史館までは、大手道コースから登って行きました。

家康は麓から中腹にかけ、入城後3日間の突貫工事で高低差8m～10mに及ぶ2重の土塁・空堀を築きました。さらに登ると、花崗岩巨石を配置した石垣や、裏込め石の集積場が見物できます。

頂上の歴史館からは尾張平野が一望でき、南の遠方には名古屋駅付近の高層ビルディングが展望できました。

信長は安土城に先行し、小牧で石垣の城を築城しました。その石垣は家康の築いた土塁に覆われましたが、土塁下の発掘調査の結果、城郭、家臣団の住居、さらに城下町の配備まで、非常に良く考慮されていることが判明しました。信長が城に求めた新しい概念が良く読み取れるとのことでした。

ここまで、時には身振り、手ぶりを交え熱く語っていただいた小野さんに感謝します。



小牧山城にて小野さんの説明



犬山城に登城する参加者

犬山城：国宝。1537年織田信康が築城。高さ19m、内部4階、地下2階、総延面積約700㎡。

犬山城は、木曾川のほとり、小高い山の上に建てられています。1617年、尾張藩付家老の成瀬正成が城主になった後、江戸時代を通じて成瀬家の居城となり、この間に城も増改築されました。城は木造建築で、築城当時の木材が多く残されており、温かさを感じます。望楼型の天守最上階からの眺めは、何と云っても木曾川とその対岸の景色が素晴らしいと感じました。

当日は、やや薄曇りながら、約15km西方の岐阜城を撮影することができました。

犬山城の石垣は浜松城と同様、チャートが使われており、積み方も同じく野面積でした。岐阜城の建つ金華山から各務原までチャート層が分布しており、手近に得られる石材としてこれが当城の石垣に使用されたのでしょうか。

犬山城の観光を終えた後は、城から南に伸びる江戸情緒たっぷりの「本町通り」を歩き、城とまちミュージアム→からくり展示館→どんでん館の順で見物して回りました。

小牧山城、犬山城それぞれの魅力を洗い出し、今後の活動に役立てたいと感じました。

帰路には、研修部の皆さんによるパフォーマンスが繰り広げられました。道中の心遣いに感謝します。

広報部 古本俊夫（南ブロック）

事業部主催「船越小学校 校外学習」

6月22日、船越小学校の6年生50名を対象に、校外学習が実施されました。

船越小学校体育館にて、同行のボランティアガイドと生徒の顔合わせがあり、田村事業部長より、見学コースやタイムスケジュール等の説明があった後、午前9時半に6～7名のグループに分かれて出発しました。

最初の見学地、浜松八幡宮には、6月30日の神事「夏越しの大祓」に使う、茅の輪が参道の中央に設置されていました。通常ではお目にかかることのない円形のしめ縄です。

古くからある神社の行事で、萱で作った茅の輪をくぐって罪や汚れを取り除き、無事に夏の暑さを乗り越え、無病息災を願うものです。8の字にくぐる作法に従い、生徒たちは神妙な面持ちで茅の輪をくぐり、お参りを済ませました。

椿姫観音、玄黙口あたりまで来ると、「疲れた～」「お腹が減った～」の音が聞かれましたが、東照宮でリスを2匹見つけた時は、疲れも吹っ飛ばすほどにはしゃぎまわり、元気が出た様子でした。

浜松城の天守閣では、徳川家康の具足や、江戸時代後期の浜松



浜松八幡宮で茅の輪くぐり



浜松城家康公甲冑の説明

城下ジオラマなどに興味津々、地元に住んでいても城の中に入ったことがない生徒が沢山いました。展望台では、残念ながら富士山は薄雲の中でしたが、自分たちの家の方向を確認していました。

天守広場の木陰にシートを広げ、待ちに待ったお弁当の時間。付添いの父兄も子供達と一緒に楽しいひと時。城と野面積みの石垣を見ながらのお弁当は又、格別です。

さて、見学コースはここから帰路になります。女の子は日焼け止めクリームを塗り、男の子はコースの確認をして出発です。

馬冷やし、鎧掛けの松、秀忠公誕生の井戸を見学して、予定通り午後1時半に帰校しました。6年生の皆さんにとって、この学習が小学校生活の楽しい思い出のひとつとなれば嬉しいかぎりです。 広報部 藤田礼子（中ブロック）

新コーナー「会員の交流広場」

日頃は、広報部の会報作りに、会員皆様のご協力をいただきまして大変ありがとうございます。

さてこの度は、会報の紙面構成について「より良い会報」とするために広報部員で検討をしました結果、“会員の交流広場のコーナーを新たに作って、テーマを絞らず自由に、より多くの皆さまに投稿してもらったらどうか”という結論になりました。



今までも「私の一言」や「びっくりガイド日誌」のコーナーを設けて、皆様から投稿をしていただきましたが、もっとフリーに投稿してもらうための新コーナーです。

会員が120名近くも在籍していますと、多芸・多才・多趣味といった、隠れた才能をお持ちの方が多く見えることかと思えます。

日頃のガイド活動以外の投稿欄「会員の交流広場」を設けて、趣味（読書、映画、音楽、絵画、写真、旅行、城巡り、茶道、華道、山登り、犬・猫の飼育等々）、特技（外国語会話、料理、手芸・編み物、スマホ・パソコンに精通、カラオケ等々）、紀行文等、会員相互の情報交換や、自己PR、交流の場として大いに利用いただければ幸いです。

投稿文の文字数の目安としては、400字程度でお願いします。写真やイラスト、挿絵等も一緒にお寄せ下さい。

投稿文は、所属ブロックの広報部員にお渡し下さい。可能な方は電子メールでいただけると幸いです。

（通常の掲載記事が多い場合は、紙面の都合上、掲載が遅れることをご了承願います）



広報部長 小池輝夫（東ブロック）

事業部主催「おおぞら高等学院～ふるさと講座～」

5月21日、伝馬町中央ビル3階にて、通信教育の高校生40人を対象に 浜松の歴史・文化をテーマに講座を開催しました。

竹山和子副会長と、事業部員の橋本さん、野島さん、鈴木さん、戸塚で対応しました。

最初に竹山副会長が浜松観光ボランティアガイドの人数や、浜松城、浜松駅インフォメーション、犀ヶ崖資料館、浜松まつり会館、同行ガイド等の活動内容を簡単に説明しました。

引き続き、浜松の歴史として、徳川家康公が生まれてから亡くなるまでを、略年表に基づき説明をしました。家康公は、最初は引間城（現在の東照宮）に入ったことや、浜松城の石垣は家康公ではなく、次の城主である堀尾吉晴が積んだこと等を説明しました。

文化については、浜松市の発展に尽くした人々について説明をしました。

暴れ天竜を鎮めた金原明善、オルガンを作り、楽器の街を生んだ山葉寅楠、ウナギの養殖を始めた服部倉次郎、日本語点字を考案した石川倉治、織機の改良や、自動車の試作品を作った鈴木道雄、6人乗りの旅客機を作った福永浅雄、テレビの父と言われた高柳健次郎、オートバイ王の本田宗一郎、画家の秋野不矩、映画監督の木下恵介等について説明をしました。

「福永浅雄は70回も墜落事故を起こした」「高柳健次郎は勉強が苦手な算数、理科が苦手だった」「本田宗一郎は学業が苦手な、もっぱら遊びやいたずらに熱中していた」と説明しても、生徒の反応はいまひとつでした。

5月28日に、おおぞら高等学院の書上(かきあげ)さんにお会いして、ふるさと講座に対する先生のコメント、生徒のコメント、来年もリクエストをいただけるか確認をしました。

「生徒のコメントは、個々に求めているのではありません」「先生自身が事前に勉強して、生徒に種をまいておけばよかった」「教育は難しい。日々葛藤です」と話していました。

「また、来年もお願いします」とのことでした。

事業部 戸塚正康（東ブロック）



講義をする竹山副会長

浜松市茶室 松韻亭にて石臼体験

大豆を石臼で挽いてきな粉にする、ということは見聞きしていましたが、抹茶の原料である碾茶（てんちゃ：生茶を蒸して、揉まずに乾燥させた茶葉）を石臼で挽いての抹茶作りは、機械化された昨今では滅多に体験できるものではありません。

左下写真のように石臼の前に座り、臼の取っ手を持って心拍の速さぐらいでグルグル回し、暫くすると、粉末状の緑色のお茶が仕上がって出てきます。そして、その挽きたての香り高い抹茶を点ていただきました。感激！

20名程の参加者には、リフレッシュ感いっぱいの「昭和の日」となりました。



石臼を挽いて抹茶作りの体験



浜松市茶室 松韻亭

抹茶には、テアニンというアミノ酸の一種が多く含まれる為甘味があり、リラックス効果や、集中力がアップする効果があるようです。

戦国武将たちに好まれた所以でしょうか・・・。

浜松城公園の一角にあるこの茶室では、月曜日の休館日以外に400円でお菓子付きのお茶が頂けます。

正座の苦手な方も大丈夫、椅子席があります。

市内めぐりのひと休み、お客様にも、家族にも気軽に案内してみたいと思います。

中ブロック 藤田礼子

新入会員の入会動機

この度、浜松観光ボランティアガイドの会に入会致しました高井と申します。

これまでの私の生活の中で、自身に対して改めて考えてみますと、「静」の動き（感受・思考）に比べ、「動」の動き（感受・思考）がほとんどであったと思われます。実際に「動」への興味の方が大きな比重を占めておりました。

しかしながら、ここ数年来、これまであまり関わりを持って来なかった「静」の面とも向き合いたい。それが「書」であったり、「絵」であったり、またボランティア活動でもあったりと、今までと違う面に興味を持つようになりました。

そのような矢先、昨年12月の「広報はままつ」で、浜松観光ボランティアガイド養成講座の案内を知り、とても良い機会と思われすぐに連絡をさせていただいたところです。

経験したことのない世界ですが、これまでの自分の生きざまのある部分を変えたいこともあり、環境の変化の中にバランスの良い生活感の充実を図りたい。

皆様のご指導をいただきながら、一生懸命努力して参る所存でございますので宜しくお願い致します。

西ブロック 高井英道

6月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

1日 金	あいち情報専門学校高等課程	100名
	白鷺小学校	178名
5日 火	富士見市老人クラブ連合会	86名
	大瀬小学校	66名
7日 木	雄踏幼稚園	79名
	新津小学校	131名
	与進小学校	176名
	雄踏幼稚園	82名
8日 金	東小学校	66名
12日 火	与進北小学校	88名
	富塚小学校	101名
	葵が丘小学校	75名
	都田南小学校	71名
13日 水	大平台小学校	108名
	中ノ町小学校	72名
	伎部小学校	81名
	飯田小学校	119名
	南の星小学校	87名
14日 木	磐田市立東部小学校	123名
	和田小学校	121名
	蒲小学校	211名
20日 水	和地小学校	173名
	萩丘小学校	124名
	泉小学校	126名
	船越小学校	68名
	神久呂小学校	115名

26日 火	佐藤小学校	73名
28日 木	鴨江小学校	53名
	上島小学校	136名
29日 金	豊西小学校	65名
	佐鳴台小学校	81名
	相生小学校	81名
* 上記以外に60名以下の49団体 1,210名		

《犀ヶ崖資料館》

1日 金	白鷺小学校	184名
7日 木	新津小学校	132名
12日 火	都田南小学校	75名
14日 木	和田小学校	122名
20日 水	和地小学校	83名
21日 木	泉小学校	131名
	萩丘小学校	99名
22日 金	神久呂小学校	110名
26日 火	佐藤小学校	61名
29日 金	与進小学校	86名
	豊西小学校	65名
	相生小学校	92名
* 上記以外に60名以下の7団体 285名		

《浜松まつり会館》

3日 日	関西学院大学地域文化学専修	39名
14日 木	西小学校	45名
* 日曜対応 (3、10、17、24日) 390名		

はままつ案内人会報 196号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

はままつ案内人

検索



出生大名 家康くん

出生法師 直虎ちゃん